

財政事情

町では、「大網白里町財政事情の作成及び公表に関する条例」に基づき、皆さんから納めていただいた税金等がどのように使われたか、また、使う予定なのかを知っていただくために、『財政事情』を年2回（5月と11月）公表しています。

今回は、平成20年度決算の概要と、平成21年度上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせします。なお、平成20年度の健全化判断比率と資金不足比率は、先月号でお知らせしていますので、参考にしてください。

☎ 財政課 財政班 ☎ (70) 0310

平成20年度会計別決算

下段の（カッコ内）は、前年度の決算額です。 (百万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	12,565 (11,933)	11,131 (11,007)
国民健康保険	5,090 (4,946)	5,019 (4,825)
老人保健	303 (2,852)	287 (2,829)
後期高齢者医療	307 (—)	302 (—)
救護施設事業	218 (216)	212 (216)
土地取得事業	52 (31)	52 (31)
公共下水道事業	2,009 (1,656)	1,974 (1,630)
農業集落排水事業	143 (141)	140 (138)
介護保険	2,480 (2,364)	2,416 (2,310)
土地区画整理事業	365 (334)	288 (329)
合計	23,532 (24,473)	21,821 (23,315)

※合計に合わせて一部の会計で切り上げ・切り捨ての処理を行っています

◇会計別の決算状況

平成20年度の決算について、一般会計と9つの特別会計を合わせた額は、歳入が235億3,159万円、歳出が218億2,055万円となりました。

平成20年度決算額の合計額が前年度を下回った主な原因としては、医療制度改革により従来の老人保健制度から後期高齢者医療制度へと変わり、歳入歳出の構造が大きく変化したことが挙げられます。

なお、一般会計の扶助費、国民健康保険・介護保険特別会計の各種給付費等は、年々進行する高齢化を背景に依然として伸び続けています。さらに、一般会計の公債費の増加、景気低迷の影響等による国からの交付金の減額等もあり、今後、財政構造の硬直化が懸念されます。

ガス事業 (百万円)

区分	決算額
ガス事業収益	708 (672)
ガス事業費用	677 (654)
資本的収入	22 (36)
資本的支出	85 (87)

病院事業 (百万円)

区分	決算額
病院事業収益	1,705 (1,676)
病院事業費用	1,904 (1,873)
資本的収入	230 (45)
資本的支出	240 (107)

一般会計

◇一般会計

<歳入>

前年度と比較し、歳入決算額が大きくなっているのは、繰越事業となった定額給付金の給付に対する国庫補助金が20年度中に歳入されたことが主な原因です。

景気悪化の影響を受け、各種交付金が前年度を下回る状況になりましたが、町税、交付税は前年度に比べ増加しました。

町税の増加は、税源委譲の影響による相対的な収入増加の影響であり、地方交付税の増加は地方再生対策費の上乗せによるものです。

また、国県支出金が大幅な増加となりましたが、主な要因として、国の2次補正による交付金の増加、定額給付金の歳入が挙げられます。

<歳出>

ここ数年、扶助費及び公債費の伸びが顕著になっているのが特徴です。

普通建設事業費については、平成19年度に白里小学校給食室の建替えが終了したこと等により、前年度と比較して大きな事業の支出がなかったため、歳出に占める割合が少なくなりました。

町民1人当たりの決算額 (目的別)

◇歳入 249,190円 ※一般会計の歳入・歳出決算額をそれぞれ人口50,425人(平成21年4月1日現在)で割った金額です。
◇歳出 220,749円

<歳出の内訳>

子育て支援・保育・福祉施策等に (民生費)	51,177円 (23.2%)
道路・公園・計画的なまちづくり等に (土木費)	33,054円 (15.0%)
医療費助成・保健衛生・ごみ処理等に (衛生費)	33,035円 (14.9%)
窓口サービス等、行政の運営等に (総務費)	31,333円 (14.2%)
小中学校・生涯学習・スポーツ振興等に (教育費)	26,914円 (12.2%)
町債の元金・利子の償還に (公債費)	19,149円 (8.7%)
消防・防災対策に (消防費)	12,489円 (5.7%)
農林水産業の振興に (農林水産業費)	8,357円 (3.8%)
町議会の運営等に (議会費)	2,943円 (1.3%)
海岸整備・商工観光振興等に (商工費)	2,298円 (1.0%)

一般会計の内訳

